

# 姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki

vol.40 2003.5.10

茨木市国際親善城市協会



銅鐸の鑄型や土器など約700点を展示している市立文化財資料館で、古墳の説明を受けるJICA研修員と市民の皆さん = 3月15日のふれあい交流で [本文は6ページ]

## 目次

- 国際交流の集い ..... 2
- 英語ハイクコンテスト、青少年活動室 ..... 3
- 茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業基金、青少年国際交流事業写真展 ..... 4
- たんぽぽ少年少女合唱団が内海町を訪問 ..... 4
- 内海町イベントスケジュール、市が内海町宿泊施設利用者に補助、実用日本語学習会 ..... 5
- 市民とJICA研修員とのふれあい交流、姉妹都市活動室 ..... 6
- JICA研修員のホームビジット受け入れ、ホストファミリーになりませんか？ 会員募集 ..... 7
- 2002年度国際交流の足あと、FIEALCボランティア募集 ..... 8



2003年国際交流の集い  
International Gathering 2003

# 初めての着物体験に感激

## 国際交流の集いに200人参加

2月2日(日)、市役所南館で「2003年国際交流の集い」を市民と市内在住外国人約200人もの参加者を集め、盛大に開催しました。

第1部の日本語スピーチ発表会では、世界7ヶ国、9名の外国人参加者が、流暢な日本語でスピーチされました。熱心なあまり、制限時間を超える参加者も多く見られ、観客もそのスピーチにのめり込んでいました。

第2部の外国人のファッションショーと着物体験では、きれいな民族衣装や着物を着た参加者が舞台に勢ぞろい。また、カン・コールマンさんのギターの生演奏や、茨木混声合唱団(写真上)の合唱など盛りだくさんの内容で、皆さん大満足の1時間でした。

第3部の交流会では、参加者や出演者がそれぞれのテーブルに集い、時間の経つのも忘れるほど、楽しい交流となりました。



新しい力を見つけた!!

寺島 イネス

日本にはじめて来た時に日本語、文化、しゅうかんが何も分からなかった。最初はすごくつらかった。日本のことがとってもきれいになりました。自分の国へ帰りたかった。だって、私は踊り、歌う、話etcとっても大好きです。その時、日本語が全然つうじなかった。友達も作りにくかった。

こんな悪いイメージでヴェネズエラへ帰りました。けど、やっぱりまた日本へ帰ることになりました。いやだ、と思いました。けれど、がんばるしかない。主人と子ども2人日本人です。愛してる。その時、全てのこと変わりました。新しい力が生まれてきた。今、私はいろんなことをやっています。スペイン語を教えています。ダンスと歌とバレーボールなどをやっています。

2月2日の国際交流の集いで、スピーチとファッションショーがありました。私のスピーチは、今書いたことでした。ファッションショーはヴェネズエラの民族衣しょう。とってもうれしかった。

私は力をみつけた。みんな見つけてほしい。日本の中にいいことがたくさんあります。私たちの文化を日本人に教える。そうすると、多分少しすみやすくなります。私たちは日本の文化をおぼえながら、自分の文化を教える。とっても大切なことです。ですから、スピーチとファッションショーはいいチャンスです。がんばりましょう!!



着物体験でインタビューを受けるAETのアン・ラローさん



今年も、ミネアポリスで行われているハイクコンテストの作品が送られてきました。今年のテーマは「town, city」。作品は観察を基盤として作られたものが多くなりました。

選句のポイントとして、擬人的にとらえたもの、他の対象と対比することによって際立たせたもの、また自分の町への想いを素直に表現したものが選ばれています。

英語ハイクは、英語圏はもとより、英語を母国語としない国々でも愛好者が増えてきましたが、学校教育の現場でも浸透してきています。英語で書かれるハイクは、日本の俳句の影響を受けた短い英詩と考えてもいいのですが、ミネアポリスのハイクは、特に英語の5-7-5音節でハイクを書くことと、できるだけ自然を詠むことを守っており、これは、英語のハイクが、日本の俳句を源としていることが表れています。

各部門の1位に選ばれた作品をご紹介します。

#### ■ 翻訳者：吉村 侑久代

朝日大学経営学部助教授

EVERGREEN HAIKU主幹

国際俳句協会会員

(World Haiku Association)

海程・吟遊同人

アメリカ俳句協会会員

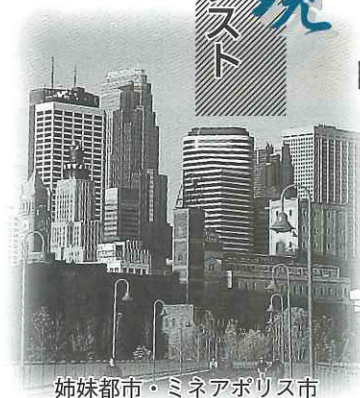
イギリス俳句協会会員

Modern Language Association

(USA)

## 町への想いを素直に表現

英語ハイクコンテスト



姉妹都市・ミネアポリス市

#### 【幼稚園・小学生の部】 Nou Thao

Laying on the ground,  
Feeling the breeze of our town,  
Always peace and neat.  
地面に寝転び  
町の風を感じる  
いつも平和でこぎれいだ

#### 【中学生の部】 Arion Lovell Washington

My very first kiss,  
And in the spaghetti shop,  
How could I forget!  
初めてのキス  
あのスパゲッティの店で  
忘れられようか

#### 【高校生の部】 Leon Shambroom

Quiet countryside  
A pink glow before sunrise  
Lights the tiny town.  
静かな田園  
朝焼けの紅色の輝きが  
田舎町を明るくする

#### 【成人の部】 Mary Jo Mogan

Snow white, city roofs,  
strung with crystal moonlit ice,  
over lacey lawns.  
雪で白くなった町の屋根  
煌く月光の氷を数珠つなぎにしている  
白いレースのような芝生の上に

## We Are Friends !

### 青少年活動室

英語で自己紹介やクッキング、ハロウィンパーティーなど、毎月違ったテーマについて、ゲームやクイズを使って、講師の久徳ウエンディさんと一緒に英語に親しむ「We Are Friends!」は、原則第3日曜日にクリエイティブセンターで行っています。小学校4年生から中学生まで、無料で参加できますので、英語を習ったことのない人もぜひ来てください!



We Are Friends! での一コマ



# 青少年のスポーツ・文化交流事業などに助成

— 茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成事業基金 —

平成5年(1993年)、(社)茨木カンツリー倶楽部が創立70周年を記念して同基金を設置し、①茨木市国際親善都市協会が主催、共催又は後援する事業、②茨木市の社会教育関係団体に所属する者(団体)で、その活動目的に基づいて国外でのスポーツ・文化交流に参加する青少年(満24歳以下)のスポーツ・文化交流事業などに助成をしております。



## 平成14年度の主な助成事業及び助成金額

- ヨーロッパチアリーディング選手権大会への参加 【40万円】  
フィンランドで行われた上記大会のエキジビションで、梅花女子大学の17人が見事な演技を披露しました。
- 英語学習ツアーの姉妹都市訪問 【20万円】  
実践的な英語を学習するため、訪問団一行(助成対象者は6人)がミネアポリス市を訪問しました。
- 世界バトントワリング選手権大会インターナショナルオープンコンテストへの参加 【20万円】  
カナダで行われた上記大会で、ワールドウィングススポーツバトンクラブの7人が参加し、4部門で優勝されました。
- コンコーディア語学村日本語研修生の受入 【24万円】  
日本語を学ぶアメリカの高校生12人が、ホームステイ等を通じて日本文化を体験しました。

- 姉妹都市交流キャンプの受入 【10万円】  
内海町の中学1年生18人と本市の子どもたちが、青少年野外活動センターで5泊6日のキャンプ生活を通じて交流を深めました。(写真上)
- 世界スカウトジャンボリー大会への参加 【8万円】  
タイで行われた上記大会に、高校生2人が参加。世界中から集まったスカウトとともにキャンプ生活を過ごしました。
- たんぼぼ少年少女合唱団の内海町訪問 【10万円】  
上記合唱団の小学生ら20人が、内海町のコーラスグループと交流を図りました。

## 平成15年度 国際交流助成金の申請を募集!

1. 提出書類等 ①事業概要等②旅費等の経費書類(見積書等)③所属団体等の概要④名簿
2. 申込 事業実施の60日前まで
3. 問合せ先 茨木市国際親善都市協会事務局

## 生き生きとした表情が写真いっぱい!

— 青少年国際交流事業写真展 —

3月19日から24日まで、平成14年度に茨木カンツリー倶楽部青少年国際交流助成金を受けた交流事業の写真展を、茨木市立中央図書館で開催しました。

姉妹都市・ミネアポリス市を訪問した英語学習ツアー、野外活動センターでの中学生リーダーキャンプに参加した内海町の中学生など写真45点が展示され、訪れた市民が見入っていました。



## “わらべうた”で内海町と交流

茨木市内にある「たんぼぼ少年少女合唱団」が、3月30日から4月1日まで国内姉妹都市・内海町を訪れ、町立苗羽(のうま)小学校の音楽部や地区老人会のコーラスグループと交流しました。

参加した幼稚園から小学校6年生の20人は、日本の伝統的な“わらべうた”や遊びを披露、楽しい交流となりました。(この交流事業は、上記基金から助成されました。)



体育館に響き渡る歌声



## 2003年内海町 イベントスケジュール

- 5月24日～6月8日 オリーブフェア
- 5月25日 2003小豆島オリーブマラソン全国大会  
5km、10km、ハーフマラソンの3コースを  
5,000人のランナー達が爽やかな汗を流します。
- 6月8日～7月6日 ラベンダーフェア  
すがすがしい甘い香りと紫色の可憐な小花を持つ  
ラベンダーがすくすくと育っています。
- 7月26日・8月8日 寒霞溪納涼まつり  
幻想的にライトアップされた溪谷に行くロープ  
ウェイでの空中散歩はスリル満点。暑い夏を忘  
れさせるような涼風を感じてみませんか？
- 7月30日 第3回懐かしの栄学校開校
- 8月5日～7日 七夕祭り(二十四の瞳映画村)
- 8月15日 第23回小豆島まつり

### 市が内海町宿泊施設利用者に補助

市では、姉妹都市内海町との交流促進を図るために、内海町の宿泊施設を利用する市民の皆さんに対し、宿泊費用の一部を補助しています。

補助額(1泊)は、中学生以上3,000円、小学生1,500円で、1人につき年間2泊分まで補助されます。

詳しくは、市民生活部市民活動推進課(TEL.620-1604)へお問い合わせください。

- 10月5日 第7回小豆島オリーブウォーク  
10km、20kmの2コースに分かれて開催する  
JVA公認大会。爽やかなこの季節、小豆島の道  
を歩いてみませんか。
- 10月19日 オリーブ収穫祭
- 11月1日 寒霞溪もみじ茶会(寒霞溪山頂)
- 3月10日～15日 オリーブウィーク

## 子どもたちの楽しい時間

森田 シーカム



私は森田シーカムです。タイからきました。日本語学習会でべんきょうしています。

日本にきてもう10年たちました。日本人とけっこうしています。今、子どもは1人います。おとこの子です。今、むすこは3年生です。

去年に私はボランティアの方と日本語学習会の友だちと一しょに西小学校で子どもたちと一しょにあそんで自分の国の話を話しました。子どもたちはよろこんでいました。そして、

### 訂正とお詫び

平成14年12月20日発行の姉妹・友好都市ニュース(第39号)「実用日本語学習会」の記事中、中村ジョイさんの顔写真が間違っておりましたので訂正しお詫びいたします。



中村ジョイさん

実

用

日

本

語

学

習

会

西小学校の先生かられんらくがありました。また日本語学習会のボランティアの方や、外国人の方に西小学校にあそびにきてほしいとれんらくがありました。前のときは、たいくかんに2年生44名、先生2名、外国5名、ボランティア1名あつまりました。

はじめに外国人がじこしょうかいをしました。そして子どもたちが色々私たちの国のことをしつもんしました。あとでいろんなゲームをしてあそびました。私たちがたいへん楽しかったです。つぎのときも楽しいあつまりにしたいと思っています。よろしくおねがいます。

当会では、日本語を母語としない方を対象に、マンツーマンで日本語学習の支援を行っています。また、学習支援者も同時に募集しています！

とき：《木曜クラス》午後1時30分～3時  
《金曜クラス》午前10時～11時30分

ところ：市役所南館8階 国際交流サロン

費用：1,500円(テキスト代は実費)

問合先：新山宅 TEL.634-3291



市内西豊川町にある国際協力事業団大阪国際センターの研修員と市民が、市内公共施設等の見学を通じて国際理解を深める「ふれあい交流」も今回で13回目となりました。

同センターは、開発途上国からの技術研修員を年間約1,500人受け入れています。

今回は、3月15日に行ないました「ふれあい交流」に参加された市民の声を掲載します。

## 出会い…そして発見!!

通訳ボランティア(IIN) 渡辺 美子

今回のふれあい交流は、冷たい雨の降るあいにくのお天気にも関わらず、希望者の方々は全員参加だった。

初めに市民の方々との《出会い》。それは、「おはようございます」の挨拶でスタートを切った。続いてJICA研修員の方々との《出会い》では、「Good morning」「Nice to meet you」に加えて、覚えてたであったろう「オハヨウゴザイマス」という日本語も飛び交っていた。

まず最初の訪問先は、東奈良にある文化



みんなで記念撮影

市民とJICA研修員との

# ふれあい交流



「ごんべさんの赤ちゃん」を披露

財資料館。そこでは、その地域で国宝級の資料が発掘されたという説明を受けた。長年住み慣れた街ではあるが、その様な歴史がある事を改めて知り、驚きと共に我が茨木市に対する新鮮な気持ちが湧いてきままさに《発見!!》であった。また、JICAの方々の真剣な眼差し、熱心に質問される表情にも感動させられた。

次に訪ねた竜王山荘では、皆、和気あいあいと昼食をとり、行程最終の懇親会に向けてのスタンプの相談及び練習を重ねた。その後、車作のゴンゴンファクトリーという炭焼き場へ。ここでは、畑中権内氏という歴史上の人物について伺い、炭焼き体験もさせていただいた。

最後のJICA大阪国際センターにおいての懇親会では、それぞれのグループが昼間の練習の成果を披露した。皆、照れくささを隠せない様子ではあったが、お国自慢の歌や踊りも飛び出して、終始笑顔が絶えなかった。本当にいろいろな《出会い》と《発見》があり、収穫多き交流であった。

## Ibaraki Intercultural Network(IIN)

### 姉妹都市活動室

姉妹都市活動室は、月2回の例会で英語力の維持、向上を目指し、英語圏等の出身の講師を招いて英語による講演や討議等を行っています。入会希望者は、まず例会時に随時見学に来てください。

例会 木曜日：第1木曜日 午前10時～正午  
金曜日：第3金曜日 午後2時～4時

年会費 正会員 2,000円 (18歳以上)  
準会員 1,000円 (中・高校生)



JICA研修員とのひなまつり



# タンザニア伝統の布に残された思い出

## —JICA研修員のホームビジット受け入れ—

ホストファミリー 松浦 昇・真樹

JICA大阪国際センターのタンザニア地方政府改革プログラムコースの研修員14名が、2月16日、市民の家庭でホームビジットを体験しました。

今回は、ホームビジットを受け入れていただいた松浦さんの声をお届けします。

2月16日、JICA研修員の方2名のホームビジットを受け入れました。

まだまだ寒い日だったのでタンザニアからの研修員の方は大丈夫かな、と思いながら、JICA研修センターまで迎えに行きました。今回、受け入れたのは、ニインビさんという男性とムブツタさんという女性でした。

我が家に来られて、まず興味を示されたのは“こたつ”でした。「これはヒーターで、座って足をを入れて使用するものだ」と説明すると、「とても、おもしろい」などと言って、写真を撮っていました。簡単な軽食をとりながら、大阪での印象（緑が多くてとってもきれい）や人々が親切だなど、こちらが恐縮するくらい褒めてもらいました。また、タンザニアでは、国立公園が多いことや紅茶は世界的に有

名なことなど、いろいろ教えてもらいました。「こちらに来てから寒かったので上着を買ったが、国へ帰れば要らなくなる」と言われ、どうしてかな?と思ったら、なるほどタンザニアでは長袖の厚い上着は必要なく、皆で大笑いになりました。こんな調子であっという間に時間が過ぎてしまい、機会があればもう一度会いましょうと約束をして、研修センターまで送って行きました。

短い時間でしたが、私たちにとっては楽しい体験ができました。お二人に頂いたタンザニアの伝統的な布を見るたびに、この日のことを思い出すことでしよう。



タンザニアの布を身にまとい

### ホストファミリーになりませんか？

協会では、姉妹・友好都市からの訪問者やJICA大阪国際センター研修員などを家庭に受け入れ、家族とともに生活するホームステイや外国の方を家庭に招いて交流を深めるホームビジット(日帰り)を通じて、日本での生活習慣をはじめとする様々な日本文化に触れられる機会を提供していただけるホストファミリーを募集しています。

ホストファミリーの登録に際して、制限はありませんが、善意かつ無償で責任を持ってお世話していただける方をお願いしております。

詳しくは、事務局までお問い合わせください。



### ● 会 員 募 集 ●

本協会では、姉妹・友好都市をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、年2回発行する協会報の送付や、協会が催す交流行事のご案内をいたします。

#### 主な活動内容

- ・国際交流の集い
- ・市民とJICA研修員との「ふれあい交流」
- ・姉妹・友好都市への市民親善訪問団
- ・中・高校生の「英語スピーチ大会」など

〈年会費〉 個人会員 (一般) 2,000円  
(学生) 1,000円

〈申込先〉 協会事務局(市役所南館 8階市民生活部  
市民活動推進課内)

TEL.620-1604



## 2002年度 国際交流の足あと

- 5月 市児童福祉課長奥田佳廣氏、教育総務課長新井雅英氏ミネアポリス市で行政研修(写真左)
- 5月 韓国・馬山青年会議所一行4人来茨
- 5月 「小豆島オーリーブマラソン全国大会」に茨木市民87人参加
- 6月 ミネソタ州日本語村で板野雅美さん、カウンセラーとして日本語・日本文化を指導
- 6月 「ミネソタ州コンコーディア語学村日本語研修生訪問団」一行15人来茨。市内中学校の見学、ホームステイなどで交流(写真中央)
- 7月 「茨木市英語学習ツアー訪問団」一行13人ミ市訪問。ミネソタ大学ミネソタ英語センターの指導で英語学習
- 7月 「内海中学校サッカー部」一行25人来茨。市内中学校サッカー部と親善試合

- 9月 「JICA大阪国際センター研修員とのふれあい交流」で44人参加
- 11月 「ミネアポリス市訪問団」一行9人来茨。茨木市・ミネアポリス市姉妹都市委員会などと懇談
- 11月 「内海町への市民訪問団」一行21人内海町訪問(写真右)

### 平成15年(2003年)

- 2月 「国際交流の集い」に約200人(外国人40人)参加
- 2月 「JICA地方自治体行政コース」研修生のホームビジット実施
- 3月 「JICA大阪国際センター研修員とのふれあい交流」で46人参加
- 3月 「たんぽぽ少年少女合唱団」一行27人内海町訪問。小学校やコーラスグループと交流



左端がライバック市長



北陵中学校を訪問



岬の分教場で

## ラテンアメリカ・カリブ海研究国際連盟大会のボランティア募集

同大会組織委員会では、秋に行う研究大会のボランティアを次のとおり募集しますので、お手伝いいただける方は、実行委員会事務局までご連絡ください。 URL: [www.pac.ne.jp/fiealc2003](http://www.pac.ne.jp/fiealc2003)

**開催期間** 平成15年9月24日～27日

**開催場所** 国立民族学博物館、阪大吹田キャンパス内

**募集内容** ①ホームステイ家庭：大会開催前後4～6泊、主にラテンアメリカ、カリブ海の若手研究者、言語はスペイン語、ポルトガル語、英語のいずれか(多くの場合英語も可)

②受付係及び会場周辺での案内・誘導係：スペイン語、ポルトガル語、英語が話せる方

③大会での日本舞踊、茶華道等の芸能の披露

**申込期限** 7月末まで(③のみ6月末)

**問合せ・申込先** 実行委員会事務局 TEL/FAX 06-6878-8360  
fiealc03@idc.minpaku.ac.jp

### 寄 附

本市の国際交流事業の推進のためにと次の方から温かいご寄附をいただきました。ご厚志に心からお礼申し上げます。(12月～4月、敬称略)  
〈市 へ〉4月 国際ゴルフ株式会社(447,500円)

### 編集・発行

#### 茨木市国際親善都市協会

〒567-8505

茨木市駅前三丁目8番13号

茨木市市民生活部市民活動推進課内

TEL.(072)620-1604 FAX.(072)622-7202